

拠出金名:世界保健機関拠出金

国際機関等名	世界保健機関 (英文名称・略称) World Health Organization(WHO)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	厚生労働省大臣官房国際課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	1,481,324	14,382		1米ドル = 103円	70.0
平成20年度	1,155,833	11,222		1米ドル = 103円	70.0
平成19年度	1,236,560	10,660		1米ドル = 116円	61.8
当該拠出金の目的・用途等	感染症対策事業、保健システム強化事業、産業保健事業等の推進				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2008-2009年度決算)	
	国 名	金 額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 3,840百万米ドル	
1位	アメリカ	356,965	21.9	当該年度の支出 3,941百万米ドル	
2位	イギリス	150,299	9.2	次年度への繰越 ▲101百万米ドル	
3位	ノルウェー	65,133	4.0	会計検査機関名	
4位	オランダ	52,467	3.2	外部監査官	
5位	カナダ	46,230	2.8	Comptroller and Auditor General of India	
日本の順位は13位、拠出率は0.8%(12,824千ドル)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
WHOは保健医療分野における指導的な専門機関であり、「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的とし、感染症対策をはじめとする疾病対策事業、保健分野の研究の促進、必須医薬品や食品保健などの基準作り等の様々な事業を展開している。保健分野のミレニアム開発目標達成に向けた取り組み、新型インフルエンザ等の新興・再興感染症対策、途上国における保健衛生水準向上等、国際社会の喫緊の課題に対し、独自の専門分野で貢献していることは高く評価される。特に、新型インフルエンザへの対応により、国際保健におけるWHOの役割は以前にも増して大きくなっている。					
邦人職員数 うち幹部以上	35人 うち 2人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		2,339人 1.5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
事務局長補 コーディネーター(結核、エイズ、マラリア)		中谷 比呂樹 清田 明宏		WHO執行部 東地中海地域事務局(EMRO)	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
適正人数は121~166人であり、極端にアンダーリプレゼンタティブである状況を踏まえ、WHOの重要ポストを更に獲得するため、今後とも、空席ポストの情報を鋭意収集し、当該ポストへの邦人職員の送り込みや昇進支援に努める。また、若手の専門家の育成に力を入れる。					

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。